

第1回

信州

「私たちがみつけた解決方法」

アディクションセミナー

SHINSHU ADDICTION SEMINAR

2010年

9/19日

10:00

16:00

松本市Mウイング

松本市中央1-18-1 (中央公民館)

入場無料

防ごう、未成年者飲酒。



昨今、有名人によるアルコールや薬物のトラブルが報道され、一般の方の関心が高まっています。しかし単に未成年飲酒や薬物などの危険性を強調するだけでは、若者に自分の身にも起きる問題としてなかなか捉えてもらえません。「依存症になるのは意志の弱い人で、自分はそうはならない…」その考えが間違っていたことを知るのは、依存症になってしまった後です。

今回のセミナーでは、依存症になった人の経験や、専門家の意見を伝えることで、若者にも大人にもメッセージを送ります。

しかし、いたずらに飲酒や薬物の危険性を煽るばかりでは、すでにトラブルを抱えてしまった人が「助けて欲しい」と言いだしづらい社会になってしまいます。

そこで、私たちは同時に問題解決（自助グループ）への手がかりを提供します。今回のセミナーには、アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症の人、またその家族の人、アディクションのある家庭で育った人が集まって問題を解決する「自助グループ」がその存在をアピールします。

青少年の教育、健全育成、非行防止に関心をお持ちの方。すでにアディクションの問題を抱えている方や、その影響を受けている方、関心をお持ちの方、ぜひご参加ください。

基調講演 ● 後藤 恵先生 (成増厚生病院・精神科医)

京都府立医科大学卒業。ロンドン大学精神医学研究所に留学。嗜癮行動科学部門、専門医の資格取得。帰国後、高月病院、東京足立病院を経て、成増厚生病院で急性期治療、困難ケースを担当。アルコール依存症の若年者や女性、家族等の回復についての研究を続けている。日本精神神経学会専門医。日本アルコール薬物医学会評議員。

メインプログラム ● 各自助グループメンバーによる体験発表・モデルミーティング

平成18年に長野県が行った調査では、高校1年生の4%が週数回以上飲酒していることが報告されています。長野県は、未成年の飲酒率が全国平均より高くなっています。

なぜ未成年の飲酒が禁じられているのでしょうか？若年（未成年）の飲酒は、脳やその他の臓器への影響が大きく、アルコール依存症になりやすいこと。そして、なってしまった場合には進行が早く、すぐに深刻な状態に陥りやすいからです。また、依存症の人の子は、成人後に依存症になりやすいことが知られています（世代間連鎖）。未成年飲酒を予防することは、依存症の「世代間連鎖」を防ぐためにも有効なのです。

●主催／信州アディクションセミナー実行委員会 ●後援／松本市、長野県精神保健福祉センター、長野市、長野県社会福祉協議会、長野市社会福祉協議会、松本市社会福祉協議会

お問い合わせ

信州アディクションセミナー実行委員会 事務局

TEL : 090-9666-2507 / メール : shinshu.addiction.seminar@gmail.com

本セミナーは、アサヒビール株式会社の未成年者飲酒予防基金の助成事業となっています。

新しい情報はホームページで >>> <http://sa-semi.net>

お子さんの部屋を用意。
託児スタッフがあります！
セミナー中、2歳から小学生までのお子さんを、フロのスタッフが預かります。
9月12日までに左記事務局までご相談下さい。